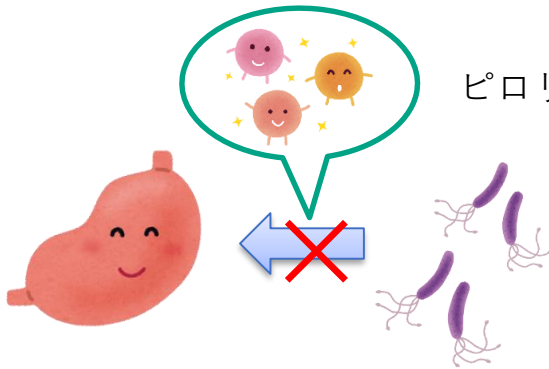


ヒトと共生し、抗菌効果でヒトを守るクリスパタス菌

最近の研究では、乳酸菌などの微生物は腸内をはじめ、ヒトの身体のあらゆる場所で菌叢を作り共生をしていることが明らかとなっています。微生物はヒトの身体でどのような活動をしてメリットをもたらすのか、今後の医療に応用されるトピックとして今もなお注目を集めています。

このレポートでは、腸内や女性の産道に存在する乳酸菌、クリスパタス菌 (*Lactobacillus crispatus*) の最新研究情報の中から、特に病原菌への効果についてのデータを紹介します。



クリスパタス菌の生菌および低温殺菌体はピロリ菌の定着およびピロリ菌による炎症を抑制する

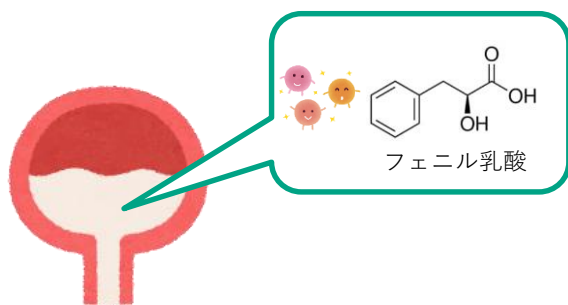
Farzaneh Fakharian et al. Mol Biol Rep. 2023 Jul 1.

生菌および低温殺菌したクリスパタス菌のピロリ菌に対する阻害作用を胃の細胞を用いて検証したところ、生菌・加熱殺菌体のいずれも胃細胞へのピロリ菌の接着・侵入を減少させ、ピロリ菌により誘発される炎症を抑制することが確認されました。

クリスパタス菌の産生する菌体外多糖 (EPS) はサルモネラ菌の感染を防止する

Chenchen Ding et al. Food & Function 2022, Issue 20

クリスパタス菌が産生するEPSは、食中毒原因菌であるサルモネラ菌 (*Salmonella typhimurium*) の増殖や移動を抑制するほか、サルモネラ菌により引き起こされる炎症作用を緩和することが確認されました。



クリスパタス菌の産生するフェニル乳酸は高い抗菌作用を持つ

Omar Abdul-Rahim et al. J Bacteriol. 2021 Sep 8;203(19):e0036021.

尿中から分離されたクリスパタス菌の産生物から強い抗菌性を持つ物質を探索したところ、フェニル乳酸が特に強い抗菌作用を持つことが確認されました。

クリスパタス菌は過酸化水素や乳酸を産生することにより病原菌への抗菌作用を示すと考えられていますが、膀胱をはじめとした泌尿器においてはフェニル乳酸が保護作用を持つことが示唆されました。

ヒト由来であり様々な病原菌に対する効果を持つクリスパタス菌は、今回ご紹介した機能をはじめ各分野での研究が盛んに行われ、様々な知見や効果が確認されています。古くからヒトと共生しヒトの身体を守るクリスパタス菌で、日々の健康サポートを意識した食品への活用を検討してみてもいいでしょうか。

カラダにオイシイ、キッティイ。

Kitiï

機能性原料の情報はHPまで！

株式会社キティー <https://www.kitii.co.jp/>
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-6-1

